

8月の予定

- 2日 博多ピノキオ保育園田んぼ見学
- 3日 オイスカ佐賀県協議会
モンゴルツアー(～8日)
- 5日 森の積み木広場(～8日)
- 16日 オイスカふれあいの翼
マレーシアツアー(～22日)
- 24日 サマーナイトフェスティバル

ご協力ありがとうございます

【7月の寄贈者】(敬称略)

進藤徳博、加治屋芳子、家永美夏
笹崎宮、(株)ZENRIN、樋口知佐子

農場の研修風景

6月6日にスイカの交配が行われ、その後10日間にわたって交配作業が続きました。ちょうど梅雨の時期で思うように交配作業が出来ませんでした。それでも着果したスイカは、おおよそ45日間にわたって徐々に大きくなりながら成熟していきました。そして、交配開始日から42日後の7月18日に、小玉スイカの初収穫を行い、それから3日後の7月20日に大玉スイカの初収穫を行いました。収穫量はあまり多くはなかったですが、10Kgを超えるスイカも結構収穫出来て、研修生も大喜びで収穫作業を行っていました。味の方とはいいますと、糖度が12度ぐらいあってそれはとても美味しいスイカでした。今年の夏も猛暑日が続きますがスイカを食べながらこの猛暑を乗り切りたいと思います。(豊田)



日本語の様子 ⑤

農業研修生 A クラス7名とBクラスの1名は7月7日に日本語能力試験を受験しました。当日の会場は福岡大学で、みんなとても緊張している様子でした。試験終了後、ほとんどの研修生が飲み物を1滴も飲んでいないことに驚きました(自販機でも購入しなかったようです)。数日は試験の結果が気になるようでしたが、現在は夏の暑さの中、夏野菜の作業に日々いそしんでいます。教室では、日本語でのおしゃべりが止まらなくなることもあるようになりました。例年大野城市で行われる日本語スピーチコンテストにはAクラスから3名挑戦することになっています。

農業研修生 B クラス5名は、7月中旬から普通体(友達スタイル)の勉強が始まりました。教室の外では、よく耳にする普通体なので、みんな意欲的に勉強していました。友達同士で話すとき、「食べる？」→「うん、食べる！」「うん、食べない…」この「うん」と「うん」の発音が難しいので、何度も練習する様子がとても可愛らしかったです。とはいえ、所長に「わかる？」と聞かれても、「うん、わかる！」はだめですよ。と教えました。日本語は難しいですね。難しいことも、楽しく勉強できるように心がけています。(立石考子)



まだまだこれから、がんばれ研修生！

体験農園だより

夏本番を迎えました。今年は大きな雨の被害もなく、スイカやカボチャの収穫を迎えることになりました。しかし野生動物に食べられないように防虫ネットを張っておりましたが、収穫直前に剥がしたにもかかわらず、一部、食われてしまう被害に遭いました。動物の素早さには毎年頭を抱えさせられます。また今回のキュウリは前作のエンドウマメから不耕起栽培を試みたものの、風によってアーチが倒されてしまいました。植付当初は調子が良かったものの、参加者の皆さまには申し訳ない結果となりました。雑草の勢いもすごいので、次は太陽熱養生処理を試してみようと考えております。約1か月、微生物資材を撒いてから透明マルチを用いて熱処理を施すことで、土壤消毒を行うことができ、その後2か月ほど雑草が生えないこともあるようです。今後もいろいろと試して、皆様に、ご利用していただきやすいように改善していけたらと思います。(飯川)



まるごと!西日本

2024年8月号



発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

日頃の様子を更新中!是非チェックお願いします!

オイスカ西日本支部幹事会

7月24日、公益財団法人オイスカ西日本支部幹事会を電気ビルにて開催。30名の役員・幹事の皆様に参加頂き、令和5年度事業報告&収支報告、また、令和6年度事業予定&予算について審議頂きました。幹事の皆様に活動を報告し、西日本支部が抱える課題や今後の展開について協議頂きました。平成3年に竣工された現研修センターの設備老朽化等についても瓜生会長より積極的な報告を頂き、今後の課題となりました。役員・幹事の皆様、今後ともご理解、ご協力を頂きますようお願い致します。(廣瀬)



農産物販売会(福岡県庁・福岡市役所)

毎年恒例となりました、福岡県庁並びに福岡市役所にて販売会を行いました。県庁では、7月4日～5日の2日間にわたり実施。事前に1日からオイスカ紹介のパネル展を開催し、最終日2日間の野菜販売会では、県庁ロビーにて研修生も賑やかに声掛けを行い多くの方にオイスカの野菜、果物をご購入頂きました。大量に購入頂いた方にはパプアニューギニアの研修生ベニー君がパプアの歌を披露。不思議な空間となりました。



市役所では、7月11日に開催。12時きっかりにインドネシア研修生のクラウディアさんと職場体験で参加した早良高校生が市役所館内アナウンスで販売会を紹介。数分で長蛇の列ができ、てんてこ舞いの販売会となりました研修生にとっても双方の販売会、自分たちで育てた作物を皆さんが喜んで購入頂いたことがとても楽しかったようです。皆様、ありがとうございました。(廣瀬)



八江農芸育種農場視察

7月16日(火)、長崎県諫早市にある八江農芸株式会社の育種農場に、研修生を引率して視察に行ってきました。八重農芸の育種農場の見学は、例年3月の帰国前に実施しているのですが、その時期は農場に栽培作物がないために見学も難しいということから、今回は7月の実施となりました。育種農場では、メロンやニガウリ、ナスなどの夏野菜が栽培されており、研修生も興味深く質問をしたり写真を撮ったりしていました。今回の視察で特に印象的だったことが、今までは農家さんが視察に来ると、「冬の農閑期に良い作物はないか」といった問合せが多かったのが、今は夏の猛暑日に出来る野菜はないかとの質問が多いということで、暑さに強い作物の品種改良が進められているとのことでした。来年の1月から短期外部研修で、研修生がまたお世話になるとは思います。宜しくお願いします。(豊田)



暑気払い

7月29日、毎年恒例の暑気払いを市内の八仙閣天神スカイビアテラスで行いました。当日は天候にも恵まれオイスカ会員企業関係者あわせて41名の参加で和やかな雰囲気の中、会話が弾み楽しい時間が流れ皆さんと親睦を深めることが出来ました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。(満川)



グリーンランド花火大会

7月15日(月)、熊本県荒尾市にあるグリーンランドの花火大会に、研修生、スタッフと一緒に参加してきました。今回の花火大会は、いつも土曜日に農業ボランティアで参加されている豊福さんからの紹介でチケットを購入し、参加することが出来ました。花火大会は8時からでしたが、時間的に余裕をもって出発していたため、待ち時間が2時間程度あったので、研修生もそれぞれ好きな乗り物にも乗ることが出来て、みんな大喜びでした。そして、花火大会では30分間という短い時間でしたが、音楽に合わせて10,000発の花火が上がり、研修生も初めて見る日本の花火に感動しながら動画で撮影をしていました。(豊田)



蕎麦打ち体験

7月30日(火)、センターの食堂にて、「福岡そばの会」の皆さんをお招きしてそば打ち体験が実施されました。まず初めに、そばの会の皆さんによるデモンストレーションが行われ、その後研修生が参加して実際にそば粉を練ったり切ったりして、美味しそうなおそばを作ることが出来ました。出来上がったおそばは、そばの会のプロの方がゆで上げて、昼食としてみんなで美味しくいただきました。研修生にとっては初めてのそばづくり体験だったので、みんな楽しく交流を深めながら参加することが出来ました(豊田)。



博多祇園山笠追い山ならし

7月12日(金)博多祇園山笠追い山ならしに福岡リバティライオンズクラブ様よりご招待をいただきました。伝統ある博多のお祭りを櫛田神社境内で間近に見学でき、山笠を昇きタイムを競う勇壮で迫力ある様子を圧倒され、思わず声を上げカメラに収めるなどして楽しみました。ありがとうございました。(満川)



地引網大会

7月20日(土)福岡リバティライオンズクラブ様より引網に研修生をご招待いただきました。当日は晴天に恵まれ、糸島二丈の海に貼られた網を参加者全員で海岸へ引き上げ沢山の魚が網にかかり大漁に恵まれました。お昼はBBQでライオンズクラブのご家族の皆様と和やかな雰囲気の中、親睦を深め、最後はダンスの披露をして会場を盛り上がり楽しい地引網交流になりました。ライオンズクラブの皆様ありがとうございました(満川)



早良高校職場体験

7月9日(火)~12日(金)の4日間にわたって合計で17名の早良高校の学生が職場体験に参加してくれました。センターでの職場体験は、午前8時30分から始まり夏野菜の出荷準備からブルーベリーの収穫作業、研修生との交流など盛りだくさんの内容で午後3時30分まで実施され、厳しい暑さの中でも一生懸命作業を行ってくれました。短い時間でしたが、オイスカの活動を知ってもらう良い機会になりました。(豊田)



販売会も
体験!

地球体験村 開催

7月25日(木)~27日(土)に第20回オイスカ「集まれ!地球体験村」を実施いたしました。今回は小中学生17名と早良高校生5名の計22名が参加されました。

1日目は13時より当センターにて開村式を行い、五箇山ダム経由で背振山に移動。不法投棄の現場見学を行い、脇山校区自治協議会 山本会長よりご説明いただきました。日頃行われている撤去作業によりゴミはありませんでしたが、参加者の皆さんには不法投棄が行われている現状とそれに対する対応について知っていただけたかと思います。その後、前会長重松様に「昔遊び体験」として枝や草などを使った鳥の毟づくりを教えてくださいました。現在では違法行為となりますが、以前は遊びの一環で鳥を捕まえて、食べていたこともあったそうです。下山後には脇山公民館前館長大鶴様より主基斎田について当時の写真も交えながら詳しくお話しをしていただきました。主基の里として知られる地域の歴史について学んでもらいました。そして昔遊び第二弾として「もぐら打ち」を行いました。昔、稲穂を収穫後に天日干しをしているとモグラがやってくるので、それを追い払う行事を遊びの一環として行っていたそうです。参加者の皆さまは楽しそうにたたいていました。夜には研修生との交流会を実施。研修生から各々の母国について紹介しました。全員、熱心に各国の話を聞いていました。その後、福岡教育大学平井名誉教授による天文教室が行われました。今回は昨年よりも雲は少なかったですが、素人にはわからないような薄い雲があり当初予定していた星が見えませんでした。そのため、他の星を見せいただき、参加者の皆様にとって良い経験になったかと思います。



記念碑前で集合写真



天文教室

2日目は国旗掲揚を行い、朝食づくり。飯盒を使った炊飯とみそ汁を作りました。自分たちで作ったご飯は特別美味しかったようです。午前の活動ではまず農業体験ということでトマト・ミニトマト、キュウリ、ピーマン、アマナガを収穫。センターに戻って袋詰めをしてから、ワッキー主基の里へ野菜の陳列体験を行いました。その後、近くの川へ移動し、水生生物観察を行いました。梅雨も明け、暑い日が続いていたので、とても気持ちよく思い出に残る活動になったようです。昼食にはそうめん流しを行い、楽しくそうめんをいただきました。午後の活動では地元の老人クラブの皆さまによる郷土料理「がめの葉もちづくり」を行い、その後、研修生による国際料理作り。今回はチベットのモモ、PNGのアイギール、フィリピンのハロハロを作りました。日本で食べる機会のない料理を作り、特に熱した石を鍋に入れるアイギールには、みんな驚いていました。おなか一杯になった後キャンプファイヤーを行いました。暑い中でのキャンプファイヤーでしたが、各国のダンスや花火、スイカの早食い競争などで、とても楽しく盛り上がりました。



3日目も国旗掲揚から始まりました。最終日ということもあり、疲れがだいぶ見えていました。午前の活動ではボーイスカウトの皆様による工作教室を実施。今回は木製マガ玉もしくは木製スプーンづくりと事前にご用意いただいた竹とんぼでの遊び体験を行いました。きれいにマガ玉やスプーンを作ることができ、竹とんぼも楽しく飛ばしていました。午後には3日間の体験をまとめた作文を行い、各国のダンスを練習しました。そして16時より当センターにて閉村式を実施しました。今回はサマーナイトフェスティバルと別日で行われたので、閉村式の中でダンスやバンブーバンドも披露して、楽しい閉村式となりました。3日間を通して、国内外に多くの友達ができ、とても楽しそうに過ごしていただけたかと思います。暑い中での活動でしたが、思い出に濃い3日間だったと思います。8月下旬のサマーナイトフェスティバルや11月の収穫祭にも、是非お越しいただき、体験村でできた友達たちと再会してもらえたらと思います。(飯川)

